

GG

11

From Governor (細淵雅邦) / ウクライナ支援について (小山陽一郎) /
留学の支援・昔の恩返し (原田敬美) / グループ奉仕事業 (黒白秀之 / 内山康成 / 伊藤高太郎)
奨学生 (栗原友輝 / 森田悠介 / 羽鳥可純 / 上田理誉 / 小河原菜美)

ガバナー公式訪問 (戸田 / 草加松原 / 浦和北 / 大宮南 / 川口中央 / 大宮東 / さいたま樺 / 桶川 / 幸手中央) その他



ウクライナの様子 (上) とモジュラーハウス (下)

From Governor

国際ロータリー第 2770 地区 ガバナー 細淵 雅邦 (浦和 RC)



2019 World Rowing Under 19
Championships “Medal ceremony”

みなさん、こんにちは。

11 月に入りました。今月は財団月間 (The Rotary Foundation Month) です。

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。

皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立て、100 年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額 40 億ドル以上の資金を提供してきました。

さて、「ロータリー財団の父」として知られるアーチ C. クランフは、ロータリー財団創設における自らの役割について、謙虚な姿勢を貫いた方です。

1917 年のアトランタ大会 (米国ジョージア州) で、クランフはロータリアンにこう呼びかけています。「ロータリーは今、新たな時代に踏み出している。これまでに形づくられた輝かしい原則を実践するための運営手法の改善が、私たちに求められている」。そして行動したひとつが基金の設立、すなわち、後のロータリー財団の設立でした。

ガバナー月信 (GG) “From Governor” を準備するにあたり、財団について調べているうちにアーチ・C・クランフがこのような高潔な謙虚

な行動をされていることを改めて知ると同時に、今、ガバナーとして公式訪問、他地区のガバナーとの意見交換などを通じ、まさに、ロータリーは今、新たな時代に踏み出している、のではないかと感じています。

ロータリーは時代に合わせ、少しずつ変化してきました。アーチ・C・クランフの実践したように会員のための新たな息吹により 100 年以上歴史と伝統、そして、全世界に 110 万人の会員が活動する世界で一番といってよい奉仕団体の座を維持し続けているのではないかと思います。ジュニファー・ジョーンズ会長の新鮮な息吹が、日本全国に吹く「爽やかな風」となり、心地よい風を感じることができる一年にしていきたいと思います。

11 月 12 日・13 日、「**ロータリーで人間力向上を!**」をテーマに 2022-2023 年度地区大会を開催いたします。今年度の地区大会は、3 年ぶりに吹く爽やかな風を感じながら、2770 地区の全ロータリー会員の皆さまと共に、グループ毎に、共に、自ら、気づき、考え、対話し、そして、実践する、地区大会にしたいと考えています。一人でも多くの会員の方がご参加いただけますことを心からお願いいたします。

今月もロータリーの活性化に向け、皆さんと共にベストをつくし、爽やかに颯爽と、充実したロータリーライフで楽しみ、輝く、そして、魅力ある「クラブづくり」を目指していきたいと思います。

ウクライナ支援について

ロータリー財団部門委員長
小山 陽一郎
 (浦和 RC)



ロータリー財団と世界中のロータリー会員が、戦争で家を失ったウクライナの人々に資金、物資、サービスを提供するための活動をしており、すでにロータリー財団は1,500万ドル以上の寄付を集め、日本からは、約334万ドル（DDF寄贈も含む）もの寄付がありました。

水、食料、シェルター、医薬品、衣料などの必需品を提供するための支援を行っています。

現在 2770 地区として、ウクライナ首都キエフ

の北のモシュチェンに 32 棟のモジュラーハウス（仮設住宅）の提供支援のため、災害救援補助金（1 地区あたり 2 万 5 千ドル）をロータリー財団に 8 月に申請し、2750 地区をはじめとする 16 地区と合同支援（計 40 万ドル）を行っています。

今年中の全 32 棟のモジュラーハウス（仮設住宅）完成を目指し現在工事が進められています。引き続きウクライナへの人道的支援活動へのご理解とご協力をお願いいたします。





「留学の支援、昔の恩返し」

財団奨学・平和フェロー・学友委員会委員長
原田 敬美 (川口 RC)

財団奨学・平和フェロー・学友委員会委員長を仰せつかりました原田敬美です。所属クラブは川口ロータリークラブです。ロータリー入会は4年前ですので、ロータリークラブについて学習中です。

当委員会の活動は奨学生の選考、その後の奨学候補生のためのオリエンテーションの実施、海外から日本に留学している平和フェローのお世話、そして、OB・OGの同窓会活動への参加、支援と大変幅広い内容です。

委員は、副委員長として早船雅文氏と貝賀雄太氏、委員に水内麻起子氏と水野正男氏と原田を含め合計5名です。関連する委員会の皆様のお支えで委員会を運営しております。

昨年度は、羽鳥可純さん（アメリカ、ノースウェスタン大学）と小河原菜美さん（イギリス、ヨーク大学）のお二人を送り出しました。

今年度は、試験を終了し、奨学候補生として栗原友輝さん（紛争予防学）と森田悠介さん（ピアノ）を選考しまし

た。お二人とも事情で既にフランス、ドイツに滞在中です。

皆さん優秀な元気あふれる若者です。大いに勉強していただき、地元のロータリーと交流していただき、帰国後はそれぞれのロータリークラブで留学の成果、体験談を語っていただくことを期待しております。

私事で恐縮ですが、私は母校の交換留学制度で1969～70年アメリカ、オハイオ州ウースター大学に留学、1971年IAESTE（日本国際学生技術研修協会）の研修生としてスウェーデンの建築事務所に研修留学、1974～76年アメリカ政府主宰のフルブライト奨学生としてアメリカ、テキサス州ヒューストンにあるライス大学建築大学院に留学しました。後年それぞれの同窓会長を仰せつかり、後輩のお世話や制度改革のお手伝いをしました。現地で先生方、友人、地元の方々に大変お世話になりました。恩返しの気持ちで若い方のお世話をさせていただくこと光栄に思っております。

「パリからのお便り」

栗原 友輝 (川口 RC)

留学前所属の学校：米国テンプル大学



パリに来て早いもので1ヶ月（9月26日執筆）が経過いたしました。初めてのヨーロッパで最初は何をするにも緊張しておりましたが、徐々にパリでの生活にも慣れてきました。

パリは街並みが綺麗で、食事も美味しく、世界一の観光地であることが頷けます。個人的に一番驚いたのが、社会インフラが充実している点です。交通費や通信費は日本と比べると3分の1ほどの値段で利用することができます。その分税金は高いですが、市民に還元されていると感じることができます。他方、貧富の格差も顕著に見受けられます。観光地ではアラブ諸国の少年・少女らが物乞いする姿をよく見かけますが、何とも言い難い気持ちになります。



アパートからの眺め



セーヌ川



ルーブル美術館



凱旋門

学校も8月29日より始まっております。私の通うパリ政治学院（Sciences Po）は、フランス屈指の行政系グランゼコール（エリート養成学校）です。ヨーロッパを中心に大変国際色豊かであり、学生全体の約半数はフランス以外の国からの留学生で構成されています。しかしながら、アジア人学生は大変少ないのが現状です。



学校エントランス



キャンパス

1 クラスは 15 ～ 20 名程度と少人数制であるため、教授が一方的に講義をするのではなく、生徒が積極的に発言

することが求められます。即興でプレゼンテーションを行ったり、グループワーク等も頻繁にあるため大変インタラクティブに授業が展開されます。そのため、予習や復習は欠かせません。授業外でも、現在進行中のロシアによるウクライナ侵攻についてヨーロッパの友人達と議論を交わすなど貴重な経験をさせていただいております。パリ政治学院では国際安全保障を専攻としており、これから主に欧州諸国の防衛政策について学んでいく所存です。授業内容については、これから随時報告させていただきたく存じます。このような大変有意義な時間を過ごすことができているのも、国際ロータリークラブ様のご支援あってこそです。改めて御礼申し上げます。

「冬の北ドイツより御挨拶申し上げます」

森田 悠介 (大宮西 RC)

留学前の所属学校 京都市立芸術大学音楽学部 (学士)

現在 ドイツ国立リューベック音楽大学 (修士)



大宮西ロータリークラブの皆様より推薦していただきました。

2023 - 2024 年度ロータリー財団奨学候補生の森田悠介と申します。この度のご選出、ならびにそれに伴うご尽力に感謝申し上げます。皆様にご挨拶できますこと大変嬉しく思っております。

私はドイツ国立リューベック音楽大学の修士課程にてピアノを専攻しております。現在は現地での演奏・教育活動のため、ベルリンに次ぐドイツ第二の都市ハンブルクに住んでおります。(リューベック・ハンブルク間はちょうど大宮・新宿間のような距離感です。)



若き日の J.S. バッハが学んだ
聖マリーエン教会



全体が世界遺産の
リューベックの街



ハンザ同盟を代表する
リューベック旧市庁舎

4 回目の冬を迎えますが、今年は欧州内での戦争のため、コロナ禍とも異なる緊張感があります。想定を超えるインフレによる物価と光熱費の高騰、日々目にするニュースから、“戦時下”という感覚がドイツ社会の中で芽生えているように感じます。

例えば、昨 6 - 9 月の 3 ヶ月間は、毎月 9€ (約 1300 円) で国内の特急を除く在来線が乗り放題になりました。今後もこういった実質的な救済案が提示される予定です。困難を超えてより良いものを構築しようとする努力を、生活をする中で学んでおります。

現在住んでいるハンブルクでは、国立歌劇場や 2017 年にオープンしたエルプフィルハーモニーでは毎日複数の演目が上演され、常に一流の音楽を聴くことができます。

また 30 歳以下の“若い”聴衆は、こういった演奏会のチケットを 10€ (約 1400 円) で購入できるシステムがあり、普段着の若者も会場によく見かけます。いかに普段の生活に芸術の喜びがあるかを感じることができます。

世界が右往左往する時代であっても、人間にとっての根本的な生きる歓びを、ドイツの地で学び実践していこうと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



ハンブルクの旧市庁舎



エルプフィルハーモニー

「Kellogg 経営大学院に留学してから」

羽鳥 可純（浦和 RC）



Kellogg 経営大学院（アメリカ イリノイ州 Northwestern University MBA）に留学してから、早くも2ヶ月が経ちました。

60 カ国から生徒が集まり、かつほとんどの課題がそれらの生徒とのグループワークであることもあり、毎日のように“多様性”を意識させられる環境に身を置いています。日本のような単一国家とみなされるような環境ではなかなか多様性を実感することはありませんでした。アメリカに来てから初めて多様性の効力を実感するようになりました。



シカゴ



キャンパスにて仲間たちと

多様性があると何が良いのでしょうか？私は「効率性を重視せざるをえないこと」にあると考えています。まず英語のレベルも様々なので、そもそも何を話しているか、今議題に沿った話をしているかどうかの確認

が必要になります。さらに各自が持つ文化的背景も異なるので、阿吽の呼吸で同意に至るということも期待できませんし、結論をやや濁したままなんとなく伝わることもあり得ません。最初は、多様性に富んだ環境下でのグループワークは私にとって非常に非効率に感じました。いちいちメンバーが「今この話をしているので合っているか」と聞くので、ちゃんと聞いていなさいよと思っていたものです。しかし実はこの作業が、しっかり議題に沿って話を進める土台となり、また発言する心理的ハードルを下げる効果があると考えようになりました。日本にいた時、いかに自分がなんとなくわかったような雰囲気会で会議を進めていたか、分からないことを分からないと言い出せず、議論に参加できなかったことが多々あったことを思い出します。似たようなバックグラウンドの人と一緒にいる方が心地いいのは間違いありませんが、ビジネスの文脈では少しの面倒を乗り越えて、多様性のあるチームで作業した方が議論は進むものだったのでありました。



MLB シカゴ・カブス本拠地球場

「ミシガン留学体験記」

上田 理誉（川口 RC）

研究留学先：アメリカ合衆国 ミシガン州デトロイト
ウェイン州立大学小児科



ラボのあるミシガン
小児病院の玄関前より

私は田中徳兵衛・徳尚グローバル補助金のご援助の下、国立精神神経医療研究センターから米国ミシガン州にあります、ウェイン州立大学小児科の浅野英司教授の研究室で、研究留学をさせていただいています。

浅野教授は小児てんかん学がご専門で、てんかん手術の術前には、脳表面に脳波電極を設置して頭蓋内電極脳波が施行され、脳機能やてんかん発作の臨床評価がなされております。浅野ラボではこの頭蓋内電極脳波を用い、見る、聞く、話す、記憶するといった人の知覚反応や認知行動に関する神経ダイナミクスを明らかにするための研究が実施されております。特に、脳神経画像と頭蓋



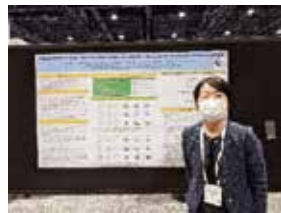
キャンパス



内脳波の高い周波数の脳波活動を組み合わせて、脳神経活動のダイナミクスを可視化する方法は世界初の技術として、注目されています。

私は現在、頭蓋内脳波を用い、短期記憶の神経基盤を解明するための研究に従事しております。短期記憶に関するゲームを実施し、ゲーム課題を記憶する際の脳神経活動を動画にし、実施パフォーマンス（正解・不正解など）の差異をもたらす神経活動の特徴について研究をしています。浅野教授を初め、研究室のメンバーの温かいご支援を受け、充実した研究生生活を送らせていただいておりますことを感謝しております。

ミシガン州は、冬が厳しく、氷点下まで気温が下がりますが、夏は涼しく、湿度も低いため、豊かな自然を楽しむことができます。私はデトロイト川の川岸や湖の湖岸をのんびり散歩することが好きで、週末に研究活動の息抜き



研究発表

をすることができております。また、デトロイト川の川岸にはアメリカの奴隷制度を逃れて、対岸のカナダへ渡った黒人奴隷の記念碑があり、アメリカにおける黒人の歴史を深く学ぶきっかけにもなりました。

最後になりますが、田中様より高額なご支援を賜り、安心して研究を続けさせていただいておりますことを深謝申し上げます。帰国の折に素晴らしい研究結果がご報告できますように、精進したいと考えております。



研究室のメンバー

「グローバル社会の発展に向けて」

小河原 菜美（上尾西 RC）



2022～2023年度地区財団奨学生として、イギリス・ヨーク大学に留学しています小河原菜美と申します。現在、応用言語学英語教育専攻の修士課程を履修しています。

私が留学に至ったきっかけは、英語教育についてこれまでの経験を生かし、知識を深め指導力を高めたいと感じたからです。これまで約5年間公立中学校で英語教員として勤めてまいりました。中学校の教員として英語教育に携わる中で、義務教育課程での「英語」という教科は、「言語教育」という観点はもちろんですが、中学生という発達段階を考慮した「社会性の育成」という点でも非常に大きな役割を果たしていると感じました。現在、学習指導要領で規定されている中学校における英語の授業数は年間

140時間です。これは、どの教科よりも多くの時間を割かれています。グローバル社会の発展の中、「英語力」の重要性が叫ばれています。真の英語力とは？そのために必要な知識技能、効果的な指導方法とはどのようなものなのか、など日本人のよさを生かした英語教育を展開していけるよう研究を進めていきます。

渡英してから約3週間が経ちました。日本と英国の文化の違いはもちろん、多文化共生社会を推進するための相互受容・理解の大切さを身をもって感じています。

この留学に至るまで、ロータリアンの方からのご指導や助言をいただき、大変感謝しています。これまでのご支援に応えられますよう、学業に励んでまいります。



ヨークミンスター



ヨーク大学メインキャンパス



ヨーク市街地

ガバナー公式訪問

戸田 RC

会長 名嘉山 博喜

幹事 長島 裕之

例会曜日・時間： 月曜・12:30 - 13:30

例会場： 戸田市商工会館 3階



2022年9月5日（月）細淵雅邦ガバナー、金子篤徳ガバナー補佐、吉田正臣地区副幹事をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

懇談会では会長幹事もとより副会長・副幹事も同席し細淵ガバナーとの討議は、とても濃密な時間となりました。ガバナーも含め私たち4人も多くの話をする機会を頂き例会前のランチタイムを削ってしまうことになってしまい大変申し訳なかったと思います。

例会では事務局員さんへのプレゼントや卓話の中では会

員さんへ一人一人目に向けて話しかけ・問いかけ等、細淵ガバナーの想いが伝わり熱い一日となりました。本当に有難うございました。

最後に懇談会の後や公式訪問を終えお見送りの際に連携の取れたとても良いクラブですね、とガバナーからお言葉を頂き、とても嬉しく誇りにも感じました。

当日は準備のため早くより会場設営して下さいました SAA、事務局、会員の皆様へ感謝を申し上げます。

gallery

副幹事取材



<会長挨拶>



<例会>



<クラブ協議会>



<事務局>



<食事>

草加松原 RC

会長 加藤 芳隆

幹事 鈴木 努

例会曜日・時間： 火曜・19:00 - 20:00

例会場： 草加市文化会館 レセプションルーム



9月6日（火）に、細淵雅邦ガバナー、斎藤幸子ガバナー補佐、梶間順子地区副幹事、長谷川功一地区副幹事、竹内雪子ガバナー補佐幹事をお迎え致しまして、ガバナー公式訪問を、開催する事が出来ました。

会長・幹事・エレクトとの懇談会では、「クラブや会員が自主的に考え運営し、居心地の良いクラブ運営を・・・会員のモチベーションをいかに高めるように創造する事が課題であり大切である」ということのお話を頂き、今後実

践したい課題だと思います。これからは、クラブ活性化そして、次にバトンをつないで行けるよう活動していきたいと思っています。

ガバナーのご助言で益々意欲を沸かせていただいたガバナー公式訪問となりました。ご訪問いただきありがとうございました。会員一同御礼を申し上げます。

また、事務局2名に対しても、暖かいお心遣い有難うございました。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<クラブ協議会最後の講評>



<クラブ協議会>



<事務局>



<食事>

浦和北 RC

会長 井川 潤

幹事 宮島 誠

例会曜日・時間： 水曜・12:30 - 13:30

例会場： ロイヤルパインズホテル浦和 3F ゴールドルーム



出席者：細淵雅邦ガバナー、斎藤光人第2グループガバナー補佐 クラブ会員 69名 事務局 1名

令和4年9月7日に細淵雅邦ガバナー公式訪問を開催致しました。先ずは通常例会に先立ち、斎藤光人ガバナー補佐、尾崎会長エレクトも同席のうえ細淵ガバナーとの懇談会に入り、当クラブの、現状、未来、中長期戦略等の意見交換を活発に行い、その後、例会場にご入場頂き記念撮影、食事、例会セレモニーと進みました。細淵ガバナーより『イマジンロータリー』『創造しよう未来への調和ーロータリーに DEI の爽やかな風をー』との内容で、細淵ガバ

ナーの希望、ロータリーと DEI について、会員全員が理解できる学習会的卓話をして頂きました。閉会点鐘後は会場を移し、クラブ協議会を開催、各委員長からの計画方針に一つ一つご講評頂き、大変有意義な内容となりました。細淵雅邦ガバナー、斎藤光人第2グループガバナー補佐にはご指導ご鞭撻を賜り誠に有り難うございました。長時間日程でしたが、物語を興味津々と一気に読み明かした様な充実感、また起承転結のきいたご指導で当クラブに活気も頂いた事にも感謝申し上げます。

gallery

副幹事取材



<会長挨拶>



<ガバナー卓話>



<クラブ協議会>



<事務局>



<食事>

大宮南 RC

会長 佐藤 一博

幹事 塚田 拓也

例会曜日・時間： 木曜・12:30 - 13:30

例会場： 大宮サンパレス / GLANZ



9月8日(木)、細淵雅邦ガバナー、熊坂創地区副幹事、第3グループ黒白秀之ガバナー補佐、小平啓介ガバナー補佐幹事をお迎えして、公式訪問例会が開催されました。会長幹事懇談会では、細淵ガバナーより、公式訪問が終了しても気を抜かずクラブの為に精進していくようにと、また、会長エレクトには来年度の基盤作りの為にも今年度から、会長幹事をささえて、自分の年度に備えるようにと、お言葉を頂きました。例会の卓話では、R I テーマと今年度の地区運営について詳しく拝聴することが出来ました。クラ

ブ協議会では、各部門および小委員会の内容説明について一つ一つ丁寧にコメントをいただき、総評では、当クラブの全員が話を聞く態度・姿勢が素晴らしいとお褒めの言葉を頂きました。今後も大宮南 RC の良い所は継承し、時代と共に変えるべき事は、変えていきより良いクラブを構築していければと思っています。最後に、ご多忙の中にもかかわらずご出席いただきました皆様に心より感謝申し上げます。公式訪問の報告といたします。

gallery

副幹事取材



<事務局>



<例会>



<クラブ協議会>



<食事>

川口中央 RC

会長 中村 勝文

幹事 納口 俊通

例会曜日・時間： 月曜・19:00 - 20:00

例会場： 川口キャスティー 7F アルファルーム



細淵ガバナーは、金子補佐とともに訪問されました。最初に例会場の確認後、当クラブ役員との懇談会にご出席を賜り、クラブの現況について親しく協議させていただきました。その後例会、クラブ協議会を通じ、人間力の大切さ

を訴え、ガバナーご自身のオリンピックにおける社会奉仕経験と基盤を一にするロータリー活動への想いを DEI の考え方に基づいて話をして頂き、会員一同深い感銘を受けました。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<会長挨拶>



<クラブ協議会>



<食事>

大宮東 RC

会長 横田 勝美

幹事 渡部 正司

例会曜日・時間： 水曜・12:30 - 13:30

例会場： 武蔵野銀行 東大宮支店 2F



9月14日(水)、細淵雅邦ガバナー、内山泰成第4グループガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

懇談会では会員増強やクラブの活性化ならびに地区内他クラブの状況等を含めクラブ運営全般についてご意見、ご指導いただきました。

その後の例会時の卓話ではスポーツを通じての今までの経験のお話やオリンピック開催でのエピソードや体験談、

閉幕後の様々なことのお話を含めロータリーについてのいろいろな角度からのお話を頂き会員一同、非常に有意義な時間となりました。

また、クラブ協議会では各委員会にアドバイスをいただき今後のクラブ運営に大いに役立つものと思います。

長時間にわたりましてご指導を頂きました細淵ガバナー、内山ガバナー補佐に心より感謝申し上げます。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<会長挨拶>



<事務局と細淵 G、横田会長>



<食事>

さいたま欖 RC

会長 鳥井 義兼

幹事 大澤 良治

例会曜日・時間： 火曜・19:00 - 20:00

例会場： さいたまスーパーアリーナ TOIRO



9月20日火曜日のさいたま欖ロータリークラブの夜間例会に細淵ガバナーに公式訪問頂きました。

まずは、例会前に会長・幹事及び会長エレクトとの面談を実施頂き、当クラブの特徴をご説明致しましたところ、ガバナーより沢山のアドバイスを頂きました。クラブの活性化のためには沢山の事を一度にやらず、何かに特化して一つずつ進めてもよろしいのではとお言葉も頂きました。

また、会員増強についてはお褒めの言葉も頂きました。

開会点鐘後、通常例会に引き続きガバナーにより「RIテーマと地区運営」と題し、卓話を頂きました。卓話後、クラブ協議会にて各部門の状況を各委員長よりご説明し、部門ごとに細淵ガバナーより講評を頂き、和やかな雰囲気のもと、公式訪問を終了致しました。

gallery

副幹事取材



<会長挨拶>



<細淵 G、黒白 G 補佐、鳥井会長、大澤幹事>



<例会>



<事務局>



<食事>



桶川 RC

会長 高橋 忠史

幹事 松岡 正祥

例会曜日・時間： 水曜・13:00

例会場： 桶川ロータリークラブ例会場



9月21日(水)、細淵 雅邦ガバナー、森嶋 修地区副幹事、そして榎本 学ガバナー補佐幹事を桶川の地にお迎えし、当クラブ例会場にて公式訪問例会を開催致しました。

まず11時半より会長幹事懇談会を開催致しました。冒頭に細淵ガバナーよりチーズバーガーとコーヒーを差し入れて頂き、和やかな雰囲気での開始致しました。高橋 忠史会長より当クラブの概況や特徴を説明したのち、ガバナーより例会場の設えから会長エレクトとしての心構え、事務局へのご配慮、規定審議会改定後の細則・定款の見直し等多岐にわたり非常に熱いご指導そして多くのお褒めの言葉を頂きました。高橋会長より本年度の運営と活動、今後グローバル補助金を活用した、当クラブとして取り組みたい国際奉仕等の新規事案に向けた準備などを報告し、細淵ガバナーより有益で参考になるご助言を頂き、非常に有意義な時間を過ごしました。

続いてメンバーが集合し13時より例会を開催。細淵ガ

バナーよりも、ガバナーを引き受けるまでの経緯を聞きメンバー皆が壮大なスケールのお話に世界を感じました。そしてRIの今後の活動方針、DEIの意味をメンバー間で共有できたことが収穫でした。最後に「人間力を育てる」という言葉に大変感銘を受けました。

記念撮影に続き、14時よりクラブ協議会を実施。各担当が記した運営方針をベースに自身の言葉でその抱いをガバナーに伝え、またそれを基にガバナーより多くの熱いアドバイスを終始頂くことができたのは大きな収穫でした。

ご多忙にも関わらず、細淵ガバナーにお会い出来た事に良い「出会いDEI」だったと感じております。出来ることであれば是非、パストガバナーとなられた時にでもオリンピックのボートの監督のお話を卓話頂きたいと願っております。

細淵ガバナー並びにご協力頂きました全ての方々に感謝と御礼を申し上げ、公式訪問ご報告とさせていただきます。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<例会>



<クラブ協議会>



<事務局>



<食事>

幸手中央 RC

会長 池田 岩夫

幹事 張ヶ代 宜広

例会曜日・時間： 火曜・19:30 - 20:30

例会場： G-FIVE 1F 会議室



10月4日(火)、細淵雅邦ガバナーによる公式訪問例会が開催された。恒例の今年度・次年度会長幹事にガバナー補佐を加えた六者懇談会では今年度は創立25周年であり、チャーター38名中6名が残っているということでガバナーの関心が高く、加えて26年目にして次年度は初の女性幹事の誕生ということで大いに期待されていることがヒシヒシと伝わった。

例会セレモニーの後、ガバナー卓話に入った。はきはきとした語り口で自己紹介されている姿はガバナーとしては

とても若々しく活動的な印象を受けた。

続いてのクラブ協議会においては、委員会の1つ1つに適切な且つ温かいアドバイスをいただき、今後のクラブ発展の糧としていきたい。

また、クラブの事務局にも細やかな心遣いをいただいたことはかつてない出来事であった。

明るくフレンドリーな当クラブの特性を一層強固にするような時間を共有することができ、非常に有意義な公式訪問例会となった。ありがとうございました。

gallery 副幹事取材



<金子桐絵会員、田口会長、ガバナー、小林補佐>



<クラブ協議会>



<事務局>



<食事>

グループ奉仕事業

第3グループ

『ポリオ根絶募金活動と打ち水大作戦』

第3グループガバナー補佐 黒田 秀之 (大宮南 RC)



去る8月28日(日)第3グループ共同奉仕活動としてポリオ根絶募金活動と打ち水大作戦を大宮駅東西口に分かれて6クラブで実施いたしました。当日は、生憎の天気となり心配しましたが、パストガバナーや地区委員長はじめ各クラブロータリアン、ローターアクトやインターアクトそして奨学生やご家族まで参加していただき、元気

いっぱい声を出し募金活動を行いました。コロナ禍の関係もあり久々の奉仕活動ということもありましたが、参加者の熱意が伝わりたくさんの賛同者の方々から募金を集めることが出来ました。また、雨上がりの天気ということもあり残念ながら「打ち水大作戦」は中止とさせて頂きました。活動が終わり少し疲れた表情の方もいらっしゃいましたが、心地よい疲れではなかったのではないのでしょうか。そしてクラブ内ではもちろんの事、グループ内でも達成感を共有できた活動ではなかったかと思います。今後も枠にとらわれない形でのロータリー活動、多様性を持った活動がとても大切になってくると思います。

最後に、今回ご参加頂いた関係各位の皆様様に心より感謝申し上げ、今後もグループ活動をはじめロータリー活動にどうぞ協力をお願い致します。



第4グループ

「森を守ろう、自然を楽しもう」

第4グループ ガバナー補佐 内山 泰成



10月8日（土）前日まで降り続いていた雨がすっかり上がり、秋晴れの気持ちの良い天気の中、私たち第4グループ大宮西・岩槻・大宮北・大宮東・岩槻東・大宮北東RCの6クラブのIM合同奉仕事業が執り行われました。

この事業はロータリーの7つの重点分野の中より「環境」をテーマとし、自然保護ゾーンを持つ「秋葉の森総合公園」において、埼玉県生態系保護協会のご協力により、「森を守ろう、自然を楽しもう」と題し、生態系保護から環境を考える企画といたしました。

さいたま市及びさいたま市教育委員会のご後援もいただき、各クラブの会員やご家族ご友人、さいたま市SDGs認証企業の皆様、そして地元の青少年育成会の皆様、総勢で約300名の参加登録をいただきました。

体験学習では、茂ったヨシ原を刈って運びだし、水面が見えるようにすることで生きもの豊かな湿地を取り戻す体

験、雑木林が弱ってしまうおそれがあるので、竹を伐って運びだす体験、落ち葉の下で眠る野草の手助けとしての落ち葉掃きなど5つのブロックに分け実施いたしました。

参加者の皆さんは保護協会の先生方のお話に耳を傾け生態系保護の大切さを学びながら真剣に取り組み、貴重な体験ができたと思います。

お昼は用意された数々のキッチンカーから各々が選び、和やかにお昼ごはんを楽しみ親睦を深めることができました。

今回は今までの会場で行うIMとは異なり、屋外でのIM合同奉仕事業として行いました。各クラブより選出されたメンバーにより実行委員会組織を作り、何度も打合せを重ね、会長幹事会でも話し合い、各クラブが協力し、一から企画運営した事業です。

これによりクラブの垣根を超えグループ一丸となることが出来たと感じております。

ロータリークラブの楽しさを多くのメンバーとロータリー家族であじわうことのできた一日となりました。



第11グループ

「川口社協関連団体フードパントリー支援事業」

第11グループガバナー補佐 伊藤 高太郎（川口南）



第11グループ合同奉仕活動は川口社協からの情報で決めさせていただきました。奉仕活動を考えているなら、子供の貧困に目を向けてほしい。アドバイスというより懇願に近いものでした。フードドライブ、フードパントリー聞きなれない言葉を理解できずに持ち帰りました。クラブに戻りますと、幹事が会社でそれを担当していて、活動の理解が深く、企画、推進を担ってもらいました。フードパントリーとは子供食堂や貧困層への食料や日用品の寄付を通じた奉仕活動。スローガン「身近の助け合い・第11グループ力を合

わせ、つなげよう奉仕と人の輪」。7か所の寄付受入れ団体に手を挙げていただき、グループ8クラブを7カ所に振り分けました。すでに活動をしていて団体と繋がりのあるクラブが3クラブもあり自身この活動の認識の低さに恥ずかしくも思いました。

各クラブが窓口担当を決め直に団体の要望を聞く形にしました。やりながらこの活動を体験し、相手のある事、受取れるもの、受入れないものそれぞれ違い、また配布される方々への配慮もありグループ全体の奉仕活動のまとまりが取れませんでした。よくわからず突っ走った結果でした。配布の場には未だ立ち会っていませんが、配布や子供食堂をやったださっている皆様

大変生き生きしている印象があります。このような活動をしている皆様に敬意を表したいと思います。

子供の貧困は気が付きにくい、子供食堂を主宰している方の卓話をいただきました。絶対的貧困と、ここでは相対的貧困という言葉で表現するそうです。我々は見えにくい子供たちの相対的貧困。このコロナ禍、戦争、物価高で益々貧困者が増加し、新しい支援が増えたことに喜んで頂きました。奉仕してくれている皆様の明るい笑顔が大変まぶしく映っています。足を踏み入れた奉仕活動、一度で退散とはいかない重い奉仕活動と認識するようになりました。



～地区大会記念ゴルフを終えて～

＜2022～23年度 2770 地区ポリオ撲滅&ウクライナ支援チャリティゴルフコンペ＞

折茂 雅信(浦和中 RC)



2022年10月3日(月)大利根カントリークラブ東西コース貸切りにて地区大会記念ゴルフが盛大に執り行えました事、ご協力下さいました皆様に心より感謝申し上げます。ご参加して頂いた62組総勢235人の皆様にはポリオ募金とウクライナ募金の合計約60万円もの金額を送金することが出来ました。皆様のご厚意に心から感謝申し上げます。またスコアは別としてもお天気が快晴で皆様には楽しくプレイして頂いたと思っております。

3日の夜にはゴルフに参加された知人のロータリアンの方々より設営等、お褒めのお言葉を頂戴し我々スタッフにも伝えようと思っていた矢先、4日の朝、思いも寄らず細淵ガバナー様より直接電話が入り、感謝と設営の素晴らしさ、そして我々の強みでもあるチームワークについても最上級のお褒めのお言葉を頂戴致しました。

さっそく皆に例会で報告しようと思います。本当に皆様、ご協力ありがとうございました。

我クラブは地区大会記念ゴルフ担当として会議を重ね細かく準備して参りましたが村上実行委員長、横田クラブ管理運営委員長には頭が下がる思いで一杯です。当日お手伝いして頂いた実行委員メンバーの17名に対する細部に渡るタイムスケジュールや役割分担の決め事、設営の為の準備品、そして何より皆様に参加賞としてお渡しした約500個以上の焼きたてパンについて我クラブの辻村幹事の経営するお店で社員が徹夜で協力して頂き感謝の一言では言い表せない協力体制でした。

いずれにせよ全ての方々の協力の中で盛大に執り行えた事を感謝申し上げます。



プロ野球観戦例会について

幸手中央ロータリークラブ
幹事 張ケ代 宜広

今年度は、8月21日 日曜日に開催いたしました。幸手市 読売新聞販売所(当クラブメンバー)にてチケットを24枚依頼して購入しました。

試合開始時間は14時00分の為、幸手市を11時バスにて出発。約2時間後東京ドームに到着後、各自昼食を取り、約3時間30分観戦しました。18時に東京ドームを出発20時幸手市到着です。

バスでの移動途中にはジャンケン大会を開催し、勝った方にはいろいろな賞品があるので大盛り上がりとなっています。

野球観戦例会はメンバーのお子さんの参加が多く家族親睦に好評です。



競馬観戦親睦例会について

幸手中央ロータリークラブ
幹事 張ケ代 宜広

今年度は、10月9日 日曜日に開催予定しています。当クラブ会員が地元の議員さんに依頼してチケットを20枚頂きました。入場料は無料となっていますが、入場する際は事前にて身元の確認が必要なため名簿を提出します。

競馬のレースは1日中行われています。11時に会場に到着、15時メインレースが行われ、16時会場を出発します。よって、幸手市を9時出発18時着の例会となります。

東京競馬場(府中市)の会場7階にビップルームがあり、食事をしながら観戦することができます。上から見下ろしながらの観戦は素晴らしい観望です。

日帰り親睦旅行として、競馬観戦親睦例会はご家族の参加が多く好評な例会です。



ロータリー財団

大口寄付 \$72,221.89	大口寄付 \$25,000.00	大口寄付 \$18,400.00	大口寄付 \$17,900.00	大口寄付 \$15,033.00	大口寄付 \$11,200.00	大口寄付 \$10,000.00
						
森田 武司 (大宮北東)	山田 誠治 (春日部)	永嶋 輝一郎 (上尾西)	大貫 等 (上尾西)	北西 功 (上尾西)	三輪 昭彦 (春日部)	富田 穰 (蓮田)
令和4年9月14日	令和4年10月5日	令和4年7月28日	令和4年9月29日	令和4年9月29日	令和4年10月5日	令和4年9月29日

ロータリー財団

マルチプル(8)	マルチプル(7)	マルチプル(7)	マルチプル(7)	マルチプル(7)	マルチプル(7)	マルチプル(6)
						
恵川 一成 (大宮シティ)	丹田 益生 (越谷)	高橋 靖 (春日部西)	池田 玄一 (越谷南)	須賀 定吉 (越谷)	町田 哲雄 (浦和東)	山内 一浩 (浦和東)
令和4年9月30日	令和4年9月28日	令和4年9月28日	令和4年7月29日	令和4年9月28日	令和4年8月26日	令和4年8月30日

ロータリー財団

マルチプル(6)	マルチプル(6)	マルチプル(5)	マルチプル(5)	マルチプル(4)	マルチプル(4)	マルチプル(4)
						
平井 文人 (浦和東)	高木 貴弘 (浦和東)	水野 泰男 (越谷)	深井 良孝 (越谷南)	田邊 好昭 (浦和ダイヤモンド)	浅見 富司雄 (越谷)	佐野 敏樹 (浦和東)
令和4年8月26日	令和4年8月26日	令和4年9月28日	令和4年7月13日	令和4年8月5日	令和4年9月28日	令和4年8月26日

ロータリー財団

マルチプル(4)	マルチプル(3)	マルチプル(3)	マルチプル(2)	マルチプル(2)	マルチプル(2)	マルチプル(2)
						
海老原 光男 (春日部)	木戸 良樹 (川口モーニング)	森嶋 修 (浦和東)	菅原 卓 (浦和東)	池田 秀弘 (浦和東)	宇津城 美奈子 (浦和東)	時枝 慎一郎 (川口シティ鳩ヶ谷)
令和4年9月21日	令和4年8月30日	令和4年8月26日	令和4年8月26日	令和4年8月26日	令和4年8月26日	令和4年8月29日

ロータリー財団

マルチプル(2)	マルチプル(1)	マルチプル(1)	マルチプル(1)	マルチプル(1)	ボール・ハリス・フェロー	ボール・ハリス・フェロー
						
石塚 恭央 (八潮みらい)	小林 武弘 (越谷南)	戸崎 洋 (浦和東)	長澤 幸義 (越谷南)	市ヶ谷 昌彦 (浦和東)	志村 巖 (浦和ダイヤモンド)	中村 国雄 (浦和東)
令和4年9月30日	令和4年7月29日	令和4年8月26日	令和4年7月29日	令和4年8月26日	令和4年8月5日	令和4年8月26日

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

栗原 啓太
(浦和東)

令和4年8月26日

ポール・ハリス・フェロー

山口 剛一
(春日部)

令和4年10月5日

ベネファクター

南保 剛
(浦和ダイヤモンド)

令和4年8月5日

ベネファクター

篠田 和男
(三郷中央)

令和4年8月31日

米山奨学会

米山助労者メジャードナー(36)

邨田 茂
(吉川)

令和4年9月20日

米山助労者メジャードナー(27)

山田 誠治
(春日部)

令和4年10月5日

米山助労者メジャードナー(26)

恵川 一成
(大宮シティ)

令和4年9月6日

米山助労者メジャードナー(22)

高橋 靖
(春日部西)

令和4年9月28日

米山助労者メジャードナー(17)

田中 祥皓
(春日部西)

令和4年10月13日

米山助労者メジャードナー(16)

永嶋 輝一郎
(上尾西)

令和4年7月28日

米山助労者メジャードナー(16)

吉村 雅男
(浦和東)

令和4年9月22日

米山奨学会

米山助労者メジャードナー(15)

桃木 俊郎
(越谷)

令和4年9月28日

米山助労者メジャードナー(14)

蓮見 直彦
(大宮シティ)

令和4年9月6日

米山助労者メジャードナー(13)

北西 功
(上尾西)

令和4年9月30日

米山助労者メジャードナー(13)

國光 勝三
(浦和東)

令和4年9月22日

米山助労者メジャードナー(13)

吉田 耕之
(大宮シティ)

令和4年9月6日

米山助労者メジャードナー(12)

佐藤 正行
(浦和東)

令和4年9月22日

米山助労者メジャードナー(12)

三輪 昭彦
(春日部)

令和4年10月5日

米山奨学会

米山助労者マルチプル(11)

齊藤 茂
(浦和東)

令和4年9月22日

米山助労者マルチプル(11)

浅賀 紀一
(三郷中央)

令和4年8月31日

米山助労者マルチプル(10)

小山 福松
(浦和東)

令和4年9月22日

米山助労者マルチプル(9)

町田 哲雄
(浦和東)

令和4年9月22日

米山助労者マルチプル(9)

佐藤 隆行
(大宮シティ)

令和4年9月6日

米山助労者マルチプル(9)

岡田 勇作
(吉川)

令和4年9月20日

米山助労者マルチプル(8)

岡本 圭司
(大宮シティ)

令和4年9月6日

米山奨学会

米山助労者マルチプル(8)

松岡 晋
(浦和東)

令和4年9月22日

米山助労者マルチプル(8)

那須 隆男
(大宮シティ)

令和4年9月6日

米山助労者マルチプル(7)

小久保 岳彦
(浦和東)

令和4年9月22日

米山助労者マルチプル(7)

松田 繁三
(越谷)

令和4年9月28日

米山助労者マルチプル(7)

中野 重雄
(春日部西)

令和4年9月21日

米山助労者マルチプル(7)

佐野 敏樹
(浦和東)

令和4年9月22日

米山助労者マルチプル(7)

榎本 秀雄
(浦和東)

令和4年9月22日

米山奨学会

米山功労者マルチプル(7)

橋本 直子
(大宮シティ)
令和4年9月6日

米山功労者マルチプル(7)

中野 政廣
(蓮田)
令和4年9月29日

米山功労者マルチプル(6)

和井田 昇
(吉川)
令和4年9月20日

米山功労者マルチプル(6)

染谷 宗一
(越谷南)
令和4年7月29日

米山功労者マルチプル(6)

生貝 義男
(大宮シティ)
令和4年9月6日

米山功労者マルチプル(6)

片桐 勇
(上尾西)
令和4年7月28日

米山功労者マルチプル(6)

丹田 益生
(越谷)
令和4年9月28日

米山奨学会

米山功労者マルチプル(5)

伊藤 悟
(大宮シティ)
令和4年9月6日

米山功労者マルチプル(5)

野口 寛
(浦和東)
令和4年9月22日

米山功労者マルチプル(5)

岡村 一巳
(浦和東)
令和4年9月22日

米山功労者マルチプル(5)

鈴木 甫
(浦和東)
令和4年9月22日

米山功労者マルチプル(5)

内田 房雄
(さいたま中央)
令和4年9月30日

米山功労者マルチプル(5)

尾ヶ井 寛
(吉川)
令和4年9月20日

米山功労者マルチプル(4)

浅見 富司雄
(越谷)
令和4年9月28日

米山奨学会

米山功労者マルチプル(4)

沖 良男
(三郷中央)
令和4年8月31日

米山功労者マルチプル(3)

小柳 嘉文
(浦和東)
令和4年9月22日

米山功労者マルチプル(3)

山崎 政俊
(大宮シティ)
令和4年9月6日

米山功労者マルチプル(2)

松谷 英樹
(大宮シティ)
令和4年9月6日

米山功労者マルチプル(2)

男澤 望
(大宮シティ)
令和4年9月30日

米山功労者マルチプル(2)

小林 武弘
(越谷南)
令和4年7月29日

米山功労者マルチプル(2)

森嶋 修
(浦和東)
令和4年9月22日

米山奨学会

米山功労者マルチプル(2)

稲垣 壯一
(吉川)
令和4年9月20日

米山功労者マルチプル(2)

中内 啓夫
(越谷南)
令和4年6月28日

米山功労者マルチプル(2)

中山 邦
(上尾西)
令和4年7月28日

米山功労者マルチプル(2)

山岸 和美
(大宮シティ)
令和4年9月6日

米山功労者マルチプル(2)

深野 洋二
(越谷)
令和4年9月28日

米山功労者マルチプル(2)

清水 浩子
(三郷中央)
令和4年8月31日

米山功労者(1)

白井 智子
(浦和東)
令和4年9月22日

米山奨学会

米山功労者(1)

佐藤 尚人
(浦和東)
令和4年9月22日

米山功労者(1)

栗原 比呂志
(蓮田)
令和4年9月29日

米山功労者(1)

森 道子
(浦和東)
令和4年9月22日

準米山功労者

郡司 貴江
(上尾西)
令和4年7月28日

新 会 員



小田 泰義
(大宮)

令和4年8月24日入会
ブルデンシャル生命保険株式会社
金融保険業



赤松 宏和
(浦和中)

令和4年9月8日入会
合同会社価値づくり共働社
コンサルティング業



平野 慎也
(越谷)

令和4年9月20日入会
株式会社マルニックス
電子部品製造業



英 利昭
(草加シティ)

令和4年10月1日入会
株式会社栄寿
金属製品製造



森 猛
(八潮)

令和4年10月4日入会
株式会社大森興業
建築業



佐藤 秀一
(八潮)

令和4年10月4日入会
有限会社サトーカーリペア
自動車整備業



本間 栄子
(八潮)

令和4年10月4日入会
竹ノ塚カントリークラブ
飲食業

新 会 員



倉員 敏明
(大宮)

令和4年10月5日入会
くらかず眼科
眼科



福本 裕子
(大宮東)

令和4年10月12日入会
富久屋
飲食業



須田 憲博
(戸田イブニング)

令和4年10月15日入会
有限会社浜口技研
建設業

訂正

10月号掲載の新入会員様のお名前に誤りがありました。



中塚 順也様
(三郷ウエズデー)

令和4年7月6日入会
有限会社中塚運送
運送業

訃 報

謹んでお悔やみ申し上げます。



奥墨 元治
(戸田西)

2022年8月19日ご逝去
享年83歳



伊藤 譲次
(川口北東)

2022年9月10日ご逝去
享年82歳



中里 静博
(越谷)

2022年9月6日ご逝去
享年74歳



大澤 辰雄
(八潮)

2022年9月23日ご逝去
享年78歳

10月は米山月間



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 271
2022年10月13日
発行

1. 米山月間の由来

今年も米山月間がやってまいりました。国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間とは別に、日本独自の月間テーマとして、毎年10月は米山月間となっています。今回は改めて、その由来についてご紹介します。

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4月となり、重なってしまったこと。また、4月では各

クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障

があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。当会の配布資料などを活用し、米山への理解促進へのご協力をお願いいたします。



2. 米山のルーツを訪ねる



9月24日から25日にかけて、第2790地区（千葉県）米山学友会主催で、「米山梅吉記念館探訪旅行」と題し、23人の学友・奨学生を含む27人が記念館を訪問しました。ほとんどの奨学生・学友にとって初めての記念館訪問で、梅吉翁の生涯、奉仕の精神に触れ、奨学生からは「米山奨学生になることができて光栄」、「平和な社会を築くために、米山梅吉のような人になりたい」といった声が多くあったとのことでした。

また、2日目には東京へ戻り、サントリーホールにて「交響詩・古事記『一粒萬倍 A S E E D』五穀豊穰の物語」を観覧。「万物は一つに

つながっている」というテーマである物語を通じて、歴史の体験をしました。

同学友会副会長のグエン ビッグ フォンさん（2020-21/我孫子RC）は、「コロナ禍の影響でずっと活動が少なく、米山梅吉記念館も行ったことがなかったので、奨学生の皆さんと同じく新鮮な気持ちで参加しました。ロータリアンの方々と交流ができ、日本文化を勉強でき、新たな仲間もたくさんできました。米山奨学事業への理解、異文化理解について、より深まっただと感じています。お世話になった皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです」と、述べました。



ぶどう狩りを楽しむグエンさん(中央)と奨学生

3. 映像で体感する米山奨学事業

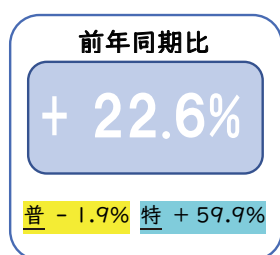
米山奨学会では、公式のYouTubeチャンネルにて、米山に関する動画を順次更新しています。

今年、新たに3人の親善大使の自己紹介動画、そして2760地区の奨学生選考過程に密着した、「よねやまに魅せられてーロータリアンの想いー」を公開しました。引き続き、米山奨学事業について、文字や写真のみでなく映像でも皆さまにお届けできるように努めてまいります。例会やセミナーなどで、YouTubeを活用し



て、気軽に上映していただくことが可能です。また、ご希望があれば映像をDVDとしてお送りさせていただきます。希望される方は当会の広報までご連絡ください。

4. 寄付金速報 — 年に1度の米山月間 —



9月までの寄付金は、前年同期と比べて22.6%増（普通寄付金：1.9%減、特別寄付金：59.9%増）、約7,760万円の増加となりました。今月の特別寄付金の大幅増は、267号で紹介した米山学友、周順圭さん（1962-63：東京西RC、1963-65&

66-68：東京世田谷RC）の約6,890万円のご寄付が当会に入金されたためです。皆さまの多額のご寄付とお気持ちに、改めて厚く御礼申し上げます。

また、東京城北RCの元会員、故飯島英夫氏のご遺志を継いで、令夫人の喜与子氏から昨年度いただいた1,000万円のご寄付に対し、9月30日、同クラブ例会にて、相澤光春副理事長から喜代子氏へ感謝状と特製盾を贈呈しました。

5. 夏のワークショップ in 浦項

8月27日、韓国米山学友会主催「夏のワークショップ in 浦項」が慶尚南道浦項市の浦項工科大学にて開催され、総勢16人が参加しました。

今回のワークショップは1泊2日の日程で、一般に立ち入ることができない大学内の放射光加速器等の研究所を訪問し、施設内の見学をしました。同学友会のワークショップは、メンバ



ワークショップの合間にカフェで一息

一同士の親睦と新たな知識共有の場として、7年前から毎年2回ほど開催しています。また、同学友会では、2016年から在韓日本人留学生への奨学金支援も毎年行っています。

広報担当の金珉庭さん（2005-06／吹田西RC）は、「韓国で活躍している米山学友が研究、経済、情報などを共有できる学習の機会を提供するとともに、学友間の更なるコミュニケーションの場を設け、来韓した日本人留学生との密な交流を目指しています。今回は日本人留学生の参加は1人でしたが、今後は多くの日本人留学生が参加し、情報共有や相談ができ、勉学はもちろん、韓国での生活の活力になるような場にしていきたいです。私たち学友会は、さらに交流の輪を広げ、絆を深めることを第一に、さまざまな活動をしてまいります」と述べました。なお、韓国学友会は11月26日に総会を開催予定です。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・長尾(ながお)

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2022 年 11 月号 No.1

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター



第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 安増 惇夫 (宗像)

私の所属する2700地区は、21年に「地区戦略計画委員会」にて、「2700地区RAC活性化対策」に取り組み、地区RA委員会、地区RAC、等々の関係する委員会等で検討し、下記のような「2700地区RAC諸規定」を定め、7月1日に遡って発効しました。少しずつですがその好結果が見えだしたので、「皆様の参考にでもなれば」と考え、この欄にて紹介させていただきます。(掲載文字数の制限で、一部簡略・省略しています)

1. 地区内のRACはそれぞれ一つの独立クラブと認識し、地区との包括的連携団体とします。そのために、青少年奉仕部門から分離し、地区RA委員会と相互に連絡を取りながらRACの維持と活性化を図ることになります。
2. 地区内のRACは、「自立したRAC」を目標として活動し、【常に会員増数に努力し、「提唱型RAC」「独立型RAC」は勿論、「地区支援型RAC」も、「RACから発展した衛星クラブ又はロータリークラブ」への移行を目指すか、RA卒業後にアドバイザーの勤めるロータリークラブ会員又は「ロータリーフェローズ2700」の会員になることを目指してください。
3. 2022年度から2700地区RACとして、地区組織からは別組織となりますが、双方は包括的連携協力を維持するために、指定する(省略)地区委員会に地区委員を所属させるとともに、地区主催の「地区研修・協議会」には、定められた方法で出席してください。
(RAC地区委員は、2700地区委員と同等の権利と義務を所持します)
4. RACの会長は 地区主催の「PETS」に定められた方法で出席してください。
5. 2700地区内RACは、下記の3つの形に分類し、支援クラブ・アドバイザー制度を設けます。(アドバイザーの役目は省略)
 - ① 独立型(企業型)RAC 柳川2020RACのような提唱クラブの無い型。
「RAC」と「支援クラブ」・「アドバイザー」の連携により共存共栄を図る理想的なRAC。
 - ② クラブ提唱型でクラブとの関係も良好で活動も活発な型。「RAC」と「支援クラブ」・「アドバイザー」・「クラブロータリーアクト委員会」の連携により、「衛星クラブ」として、独立運営が出来るように更に支援を進める。
(提唱型クラブのRAが4人以下となり、その状態が3年続いた場合は、自動的に地区支援型RAとして、地区RA委員会はその手続きを行う)
 - ③ 地区支援型でクラブが提唱できないような少人数又は1人や2人のRAを育てるために「RA」と「推薦クラブ」・「アドバイザー」に「2700地区RA委員会が支援する-地区支援型」のRACとします。1人からでもRAになることが出来ます。(地区内1クラブから推薦のRAが5人以上になる場合、クラブ内に「RA委員会」を設置し、クラブ理事会の決定によって提唱クラブとなる手続きをして下さい。
6. 地区大会等に関する件
RAは地区主催の地区大会に出席する事は出来るが、参加人数、参加登録費等々はその都度、当事者間担当者の協議で決定する(簡略)。
7. 金銭に関わる件は詳細に規定していますが(省略)します。



奉仕プロジェクトが果たす公共イメージ向上への役割

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 深尾 兼好 (鹿児島西像)

「ポリオ根絶」はロータリーの最優先事項、達成まであと一息。残り僅か2か国(アフガニスタンとパキスタン)となったが、完全撲滅には困難を極める。膨大な費用を要するが、日本国内でポリオはすでに忘れられた存在になっていて、ポリオに対する意識は低い。日本でも毎年ワクチンを接種し続けなければ、世界のどこかにポリオウイルスがある限り、

その侵入による感染リスクがあるとされる。今年は、日本各地で、地区単位、クラブ単位での「世界ポリオデー」イベントを企画、実施することが重点事項として取り上げられた。私の地区 2730 では、2750 地区の宮崎陽市郎 GE が宗谷岬から日本縦断「END POLIO Cycling Challenge 2750」を敢行され、佐多岬にゴールされるのを PR チャンスと捉え、「GOAL CEREMONY」を計画した。他人の輝で相撲を取るようで恐縮だが、マスコミ各社に働きかけ、その意義を説き取材の約束を取り付けた。地元の鹿屋市、南大隅町の関心も高く、多数の市民参加が期待できる。会場には巨大な「世界ポリオデー」の懸垂幕を設置、「END POLIO NOW」の PR コーナーも設ける。こういったイベントは全国一斉に実施する方が訴求効果も高く、正確な VI (Visual identity system) によってロータリーを印象づけることが可能となる。

また、振り返ると、昨年度は、「奉仕の実践」をスローガンとして日本中で「ロータリー奉仕デー」が実行された。その一つの重要なプロジェクトが「海岸美化プロジェクト」。世界中で増え続ける海洋ごみ。日本中が心一つにして、海洋ごみ削減のためのアクションを起こす、という取り組みが市民の中で大きな反響を呼び、2730 地区でも、海岸駐車場からはみ出す程のロータリアン、ロータリーファミリーと一般市民が集まり 1.6 キロの海岸で清掃活動を展開した。見た目は美しい白砂青松の海岸から想像もつかないゴミ 300 キロ余りを回収、専門家の分析に参加者はいちいち領き、この取組の重要性をロータリアンと共有、プロジェクトの継続を誓いあった。

この他ロータリーの活動としては、地区補助金を活用した地域への貢献やグローバル補助金を使ったロータリーの重点分野への世界支援等、奉仕の機会は山ほどある。が、折角のこの機会を広くアピールすることなく、単に自己満足に終わらせているのが現状のようだ。公共イメージの向上に市民の共感を呼ぶ「奉仕プロジェクト」の実施・継続は欠かせない。ニュースのネタになる、市民の話題になるアプローチが、ロータリーを認知させ、プロジェクトへの共感が会員増強にも繋がる、と思うのだが。



第 3 地域 ARRFC を拝命して

第 3 地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐
駒井 英基 (佐賀南)

昨年 7 月に ARRFC を拝命してはや 1 年半程度となります。

それまでも個人として財団への寄付も続けておりましたし、国際財団活動の一環にも携わらせておりました。しかし実際に担当地域の会員の皆様へ、貴重な浄財の積極的なご寄付を推進する役目となりますと、中々難しい状況もありました。昨年からのコロナ禍はまた完全には収まっておらず、つい最近まで例会の開催がなされていないクラブもありました。地域差はあるかもしれませんが、九州地区では、クラブ例会や財団セミナーなどがリアルで行えないと、実際に皆様方の寄付行為への熱意を高めることができず、寄付額が伸び悩んでおりました。財団セミナーを ZOOM 等用いて、補助金活動の原資は、地区内会員の皆様からの年次基金が直接反映していることなど、お話していたつもりですが、やはりリアルなセミナーでないと伝わりにくいのだと危惧いたしました。唯、九州内では各地区に大口寄付をお願いさせていただきましたら、各財団委員長や委員会の皆様方のご協力も頂き、アーチ・クランフ・ソサエティ (AKS) や冠名基金等に新たにご協力頂くことができました。これには感謝の気持ちでいっぱいです。今年の秋葉になりまして各地区の補助金セミナーや財団セミナーが再開されておりますので、私も参加させていただいて、年次基金の意味や大切さと恒久基金への寄付の目的の違い等を各クラブの代表の方に直接お話をさせていただいております。直接の効果が解るのは来年の 7 月以降ですが、粘り強くお話を続けてまいります所存です。



2022 年 9 月 17 日 第 2700 地区 財団セミナー

From CAR GRAPHIC Publisher



株式会社カーグラフィック 代表取締役 加藤 哲也

経歴：

1959 年東京生まれ。1985 年株式会社二玄社入社、CAR GRAPHIC 編集部配属。2000 年から同誌 4 代目編集長を務める。2007 年から姉妹誌 NAVI 編集長を歴任。2010 年、CAR GRAPHIC 事業／商標を二玄社から譲渡され、新しい出版社株式会社カーグラフィック設立。

同社代表取締役に就任。現在に至る。

ロータリークラブ細淵雅邦ガバナーとはお互いの人生に欠かせない自動車を通じた 30 年来の友人。

サーキットやイベント会場で度々顔を合わせるだけでなく、先日は某有名シンガーのライブ後、イタリアンレストランで大騒ぎしたばかり。

野生の勘を取り戻せ

まだ日中は暑いですが、盛夏はとっくに過ぎ去った。朝晩は涼しく、晴れ空を飾るのは完全に秋の雲だ。

9 月末日。明日から月が代わるというのに、僕の腕は真っ黒に日焼けしている。

ゴルフ焼け？ いや違う。古いオープンカーに乗り、金曜から月曜まで丸々 4 日間、朝から日暮れまでドライブを続けるラリーに参加したからだ。地黒の僕は肌が強い。若い頃夏は海で焼け、冬は雪山で焼けた。というよりガンガン焼いた。昭和 30 年代生まれとはそういう世代である。マドンナ、マイケル・ジャクソン、プリンスと同年。肌が黒ければ黒いほどナウなヤングだった。

だから僕は還暦を超えた今も日焼けを気にしない。おかげで顔はシミだらけだけど。

今回僕がステアリングを握ったのはトライアンフ TR3 という英国製ライトウェイト・スポーツカー。ノーマルには当然おり畳み式のソフトトップがつくが、軽くレーシングトリムが施されたこの車には幌がない。空気抵抗低減のためフロントに装着されるのはウインドーではなく低いアクリル製のスクリーン。ワイパーさえ備わらない。ドアも低く、おかげで上半身剥き出しだ。日射しも風ももろに受ける乗車感覚は 4 輪というよりオートバイに近い。

1950 年代後半に生まれたこのトライアンフ TR3、通称“トラサン”を現代の道で走らせると一体どんな印象を受けるのか？ 70 歳近い老馬はしかし、大抵の皆さんが想像するより、実はずっとかくしゃくと走る。エンジンは 20 4 気筒。たかだか 95ps に過ぎない。とはいえ車重が現代の半分程度の 800kg 台しかないから十分軽快だ。

初日のルートは明治神宮をスタートし裏磐梯のリゾートホテルを目指すという、大半が高速道路をひた走るルートだったものの、メーター 100km/h を超えるスピードでの巡航も楽に行えた。ギアシフトも確実だし、フロントにオプションのディスクブレーキを備える制動力もまずまず。フェラーリやポルシェのような駿馬、サラブレッドとは呼べないが、農耕馬とは明らかに違う。量産車のエンジンを流用しながら、ちゃんとスポーツカーに仕上がっている点が素晴らしい。

操るにはそれなりの腕力と脚力、それにある程度の作法を要求されるのは当然のこと。しかし対話を深めながらだんだん体に馴染ませ、うまく操れるようになっていく過程がまた楽しい。

より安楽かつ安全に。自動車の進化は、人間が元来持つはずの能力をスポイルする方向に歩んできた。オートマチック・トランスミッションもそうだし横滑り防止装置もそう。カーナビだって同様だ。頼りすぎると方向感覚がどんどん鈍くなる。

原始的な車に乗っていると、いつもより音や振動に敏感になっている自分を発見する。今ではすっかり錆びついてしまった自分の感覚が、再び研ぎ澄まされて、本来備わるはずの野性の勘を取り戻していくような快感が得られる。

ヒストリックカー乗りに若々しくスタイリッシュな大人が多いのは、きっとそれが理由だ。



2022～2023 年度9月 会員数報告

クラブ名	2022年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
浦和	97	3	99	3	2	10	3
浦和東	100	15	99	15	-1	3	2
浦和南	22	3	21	2	-1	5	1
浦和中	32	2	34	2	2	5	2
浦和ダイヤモンド	21	3	21	3	0	3	0
第1グループ計	272	26	274	25	2	26	8
浦和北	70	3	68	3	-2	10	1
さいたま中央	43	2	43	2	0	5	0
さいたまシティ	21	2	20	1	-1	3	0
浦和北東	34	3	37	3	3	12	3
さいたま新都心	37	0	37	0	0	5	0
第2グループ計	205	10	205	9	0	35	4
大宮	63	2	66	2	3	3	5
大宮南	37	9	38	9	1	7	1
大宮中央	37	1	37	1	0	3	0
大宮シティ	55	3	55	3	0	5	0
さいたま樺	33	2	37	2	4	5	4
さいたま大空	17	7	17	7	0	3	0
第3グループ計	242	24	250	24	8	26	10
大宮西	114	10	115	11	1	15	1
岩槻	23	1	25	1	2	5	2
大宮北	9	0	9	0	0	3	0
大宮東	37	1	43	3	6	5	6
岩槻東	25	3	24	3	-1	4	0
大宮北東	11	1	11	1	0	3	0
第4グループ計	219	16	227	19	8	35	9
上尾	35	0	35	0	0	2	0
鴻巣	27	4	27	4	0	5	0
桶川	22	1	23	1	1	5	1
上尾西	41	3	41	3	0	3	0
北本	6	1	6	1	0	3	0
上尾北	20	0	20	0	0	2	0
鴻巣水曜	29	2	29	2	0	2	0
桶川イブニング	26	3	26	3	0	2	0
第5グループ計	206	14	207	14	1	24	1
春日部	27	1	27	1	0	3	0
杉戸	40	1	40	1	0	3	0
春日部西	27	3	27	3	0	5	0
庄和	17	0	17	0	0	2	0
春日部南	28	1	28	1	0	3	0
春日部イブニング	32	2	33	2	1	2	1
第6グループ計	171	8	172	8	1	18	1

クラブ名	2022年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
幸手	43	1	43	1	0	3	0
蓮田	49	4	49	4	0	5	0
久喜	47	5	47	5	0	10	0
幸手中央	19	2	20	2	1	6	1
第7グループ計	158	12	159	12	1	24	1
越谷	91	3	90	3	-1	5	1
越谷南	41	4	41	4	0	3	0
越谷北	41	1	41	1	0	2	0
越谷東	55	4	56	4	1	5	1
越谷中	13	3	13	3	0	1	0
第8グループ計	241	15	241	15	0	16	2
八潮	33	2	32	2	-1	3	0
八潮イブニング	12	0	12	0	0	2	0
草加中央	7	3	7	3	0	0	0
八潮みらい	18	1	19	1	1	2	1
草加松原	31	2	31	2	0	3	0
草加シティ	16	6	17	6	1	4	1
第9グループ計	117	14	118	14	1	14	2
吉川	12	0	12	0	0	2	0
三郷	25	3	26	4	1	3	1
三郷中央	15	1	15	1	0	3	0
三郷ウェンズデー	7	1	10	1	3	2	3
松伏	18	2	17	2	-1	2	0
吉川中央	14	3	14	3	0	3	0
第10グループ計	91	10	94	11	3	15	4
川口	99	18	101	18	2	12	2
鳩ヶ谷	15	1	15	1	0	3	0
川口東	23	1	23	1	0	5	0
川口/鳩ヶ谷武南	21	3	21	3	0	3	0
川口モーニング	25	2	25	2	0	5	0
川口南	21	4	21	4	0	3	0
川口シティ鳩ヶ谷	10	2	11	3	1	2	1
埼玉ゆず	4	4	4	4	0	4	0
第11グループ計	218	35	221	36	3	37	3
戸田	57	5	56	5	-1	2	0
蕨	18	4	20	4	2	2	2
川口西	14	2	14	2	0	5	0
戸田西	18	1	17	1	-1	2	0
川口北	25	3	25	3	0	3	1
川口北東	5	0	4	0	-1	5	0
川口中央	10	1	10	1	0	2	0
川口むさし野	16	3	16	3	0	2	0
戸田イブニング	10	0	11	0	1	2	1
第12グループ計	173	19	173	19	0	25	4
地区合計	2313	203	2341	206	28	295	49